

令和4年度 第1回ナセBA運営協議会議事録

1. 開催日時 令和4年7月27日（水） 午後3時～午後4時50分

2. 開催場所 ナセBA1階・体験学習室

3. 出席者 7名出席

（委員）

我妻 仁（会長）、北口 己津子（副会長）

太田 和広、下嶋 恵美、佐藤 繁、田中 明子、吉澤恭子

（事務局）

岸 順一、渡部 洋己、青木 昭博、石黒 志保、遠藤 朋香、齊藤 かおり、福石 敏史、齋藤 佳奈

4. 開会（事務局）

5. 理事長あいさつ（館長代理）

お忙しい中、またコロナ感染が拡大している中ご出席いただき、心からお礼申し上げます。感染防止のため十分な換気をしながら会を進めたい。理事長が急用で欠席のため、代わってあいさつを申し上げます。

ナセBA運営協議会は、今年の委員の選任で、4名の委員が代わられた。再任の6名の方も含めてよろしくお願ひしたい。当館は開館から6年になるが、この間、委員の皆様から色々なご意見をいただき運営改善を行ってきた。また、昨年度は利用者アンケートを実施し、サービス向上に努めるとともに、設備・環境改善を行った。

入館者数は今年の8月末～9月で200万人を迎える見込みであり、達成の際にはセレモニーを考えている。開館以来、入館者は順調だったが、ここ数年、コロナ禍で状況が変わった。感染拡大防止策の影響などもあり、残念ながら利用者数は減少した。昨年は12月まではやや持ち直したが、1～3月は豪雪やコロナの影響が大きかった。

このような状況ではあるが、より魅力あるナセBAとなり、より多くの皆様に利用して頂けるようこの場で忌憚のないご意見を頂戴したい。

6. 委嘱状交付

時間の都合上交付を省略し、机上に配布した。

7. 委員自己紹介

8. 職員紹介

9. 会長及び副会長選出

会長、副会長は我妻仁氏と北口己津子氏が再任された。

10. 協議

(1) 令和3年度の事業報告及び運営自己評価について

概略を事務局から説明。

(委員) 学校の見学受入について、コロナ前後でどれくらい変化があったか。

(事務局) 令和3年度の利用は19件だったが、概ね平年並みに戻っている。コロナ対策を徹底して受け入れしている。

(委員) 出前ブックトークのPRは行っているのか。

(事務局) 特に行っていない。学校から図書館に依頼があったら出前ブックトークをしている。

(委員) 図書館のツイッターがあることを知り、図書館に来ることができない時期でも、色々なお知らせを受け取れてとてもありがたい。リツイートしてもいいのか。

(事務局) リツイートはぜひしていただきたい。最近では、米沢出身の俳優の眞島秀和氏の写真集の特集展示を行った記事を投稿した際に、たくさんのリツイートがあり、図書館の周知ができたと思う。

(委員) 出前ブックトークとはどのようなことをしているのか。対象年齢に合わせて行っているのか教えていただきたい。

(事務局) ブックトークは、一つのテーマに沿って本を紹介している。小学校低学年には本の紹介に加え、読み聞かせをしている。また、ブックトークではないが、アタゴオルでコミュニティーセンターに行き、高齢者向けの紙芝居や、ブックトークのように本の紹介等を行った。読み聞かせ以外の本の紹介方法も含めて、様々な年齢層に向けて活動している。

(委員) コロナ禍においても良い運用をしていると思う。オープンギャラリーや先人顕彰コーナーも米沢出身の方の紹介をしっかりとしていると感じる。また、ウッディコンサートは人数制限をしながら開催し、非常に努力している。そのようなイベントなどを図書館利用者に伝えるために、図書館とギャラリーの連携をし、利用促進につながるようなことを検討してほしい。

(事務局) ギャラリーや博物館の連携として、特集コーナー「イベント」で開催事業に関連した書籍の紹介をしている。

(委員) 山形美術館でますむらひろし展を開催している。財団の展示事業やオープンギャラリーで米沢出身の作家について展示をしているが、ますむらひろし展を米沢市でやってほしいという声があった。

(事務局) 市民ギャラリーの自主事業で行う展示は、郷土出身の作家中心に展示しており、ますむらひろし展は平成29年度に開催した。また機会があれば展示をしたいと思う。

(2) 令和4年度の主な事業について

概略を事務局から説明。

(委員) うちどくスタンプラリーやお楽しみ袋、ガチャガチャなど、子どもの読書活動を推進す

るわくわくするような事業がたくさんある。親子で行ってみたいと思う。また、英語多読は、とても勉強になって楽しかったという声があった。ぜひ継続してやっていただきたい。

(委員) 図書館の利用向上のためのデータベース化は、どのくらいの期間と予算で見通しを立てているのかお聞きしたい。また、図書館は予算の他、寄附金を集める方針はどうなっているのかもお聞きしたい。

(事務局) デジタルライブラリーの構築は、資料整理から始まる。図書館としてまず、前からある資料と増え続けている資料の整理をしなければならない。現在地域資料の整理を進めている。公開には、多額の費用と時間が必要なので、まずは資料がどのくらい貴重なものか調べてから進めていきたい。

(事務局) 寄附のお願いをホームページに載せているが、積極的に寄附を呼びかけてはいない。図書館の事業に対して、一団体から継続していただいている寄附金を利用している状況。

(委員) ハンディキャップサービスについて、図書館概要に書いてあること以外にも具体的にやっていることがあれば教えてほしい。

(事務局) 障がい者向けの資料の収集を行っているが、図書館のハンディキャップの考え方は、図書館を利用するのが大変な利用者という意味。以前、子どもでもわかるような利用案内を図書館サポーターとともに作成した。また、現在外国人対象の利用案内の作成を進めている。また、本を読むための補助道具の作成もしてきた。

(委員) わっさまるしゅや朝市などのイベントがあると、利用者数は伸びるのか。

(事務局) イベントによっては開館前に終わってしまうので、イベントの開催と利用者数は直接には関係していないと感じている。近々図書館と関連付けた音楽イベントが開催されるので、それを通じてナセBAに来ていただけるようにアピールしたい。

(3) 図書館サービスの向上について

概略を事務局から説明。

(委員) 利用者の増加にご尽力いただきたい。昨年度の登録者数を見ると、19歳から22歳の登録者数が少なくなっている。その人たちを対象に何か工夫をすると良いと思う。

(委員) 利用者を増やすという観点でいうと、企業の方が街中に来ることが減ったが、ナセBAの体験学習室でセミナーができることを知って来る方もいる。そういう方々に図書館に誘導できるような何か工夫をするといいと思う。商工会議所でも体験学習室の利用についてPRしていきたい。

(委員) ナセBAで色々な企画があることを知らなかったので参加してみたいと思うし、友達に知らせていきたいと思う。また、協議会で配られたチラシの中に幼稚園で配られていないチラシもあったので、配っていただけるとありがたい。また、図書館は静かに過ごす場所という気持ちがあり、親は子どもが静かに過ごせるか心配なので少し行きづらい。図書館の職員が子どもに笑顔を向けたり、声をかけたりすると行きやすい雰囲気になると思う。

(委員) 手書きのPOPが付いている特集コーナーは本の概要がわかるので、何を借りるか決め

ていない時にとってもありがたい。家族内で図書館利用について意見を聞いて、委員として役に立ちたいと思う。

(委員) スンプラリーで学校と図書館の連携をして巻き込むのありがたいと思う。図書館部会では、引き続き先生へのご指導をいただきたい。また、チラシやお知らせ等があれば小中学校の子どもたちに配るのでよろしくお願ひしたい。

(委員) パスファインダーはとてもいい取組だと思う。人口減に伴う利用者の減少は仕方ないかと思う。今後はホームページに解析機能を付けて、どの記事が読まれているか把握し、パスファインダーの利用を分析してみてもどうか。また、市民から見て当たり前のことを県外の人に発信して、意外性を獲得するのも良いと思う。

(委員) 人口減の中での利用者拡大は大変かと思う。利用者のサービスとして、自分が借りた本の履歴をもとにおすすめ本や関連する本を紹介する機能があれば便利だと思うが、こうしたサービスはできないか。

(事務局) 現在はシステム上借りた本の履歴は出せない。

(委員) 図書館情報学でも、プライバシーの観点から履歴は残さないものとされている。ただ、個人の方は自分の履歴を見たいと考えているのもわかる。

(事務局) 個人情報基本的に残さないで、貸出履歴からの関連書籍の紹介はできない。もしやるとしたら、個人で読書通帳のように残すしかないが、現状では難しい。

(委員) 小さな大学図書館で行った事例として、書誌データに書き込むことで感想を残すというのがあった。そのような形で本のネットワークをつなげることはできる。図書館で何か別の手段でできないか検討していただきたい。

(4) その他

(事務局) 第42回山形県図書館研究大会への参加案内。

11. 閉会

館長あいさつ

これまでも貴重な意見を拝聴して、ナセBAの改善に努めてきた。今回いただいたご意見についても、皆様の当館を応援していただいている温かな言葉ばかりで、心から感謝申し上げます。皆様の言葉をかみしめて、市民の皆様が一層気持ちよく利用できる施設を目指していくので、今後ともよろしくお願ひしたい。

(事務局) 次の運営協議会は1月末を予定している。詳細が決まり次第改めて委員に連絡する。

以上